

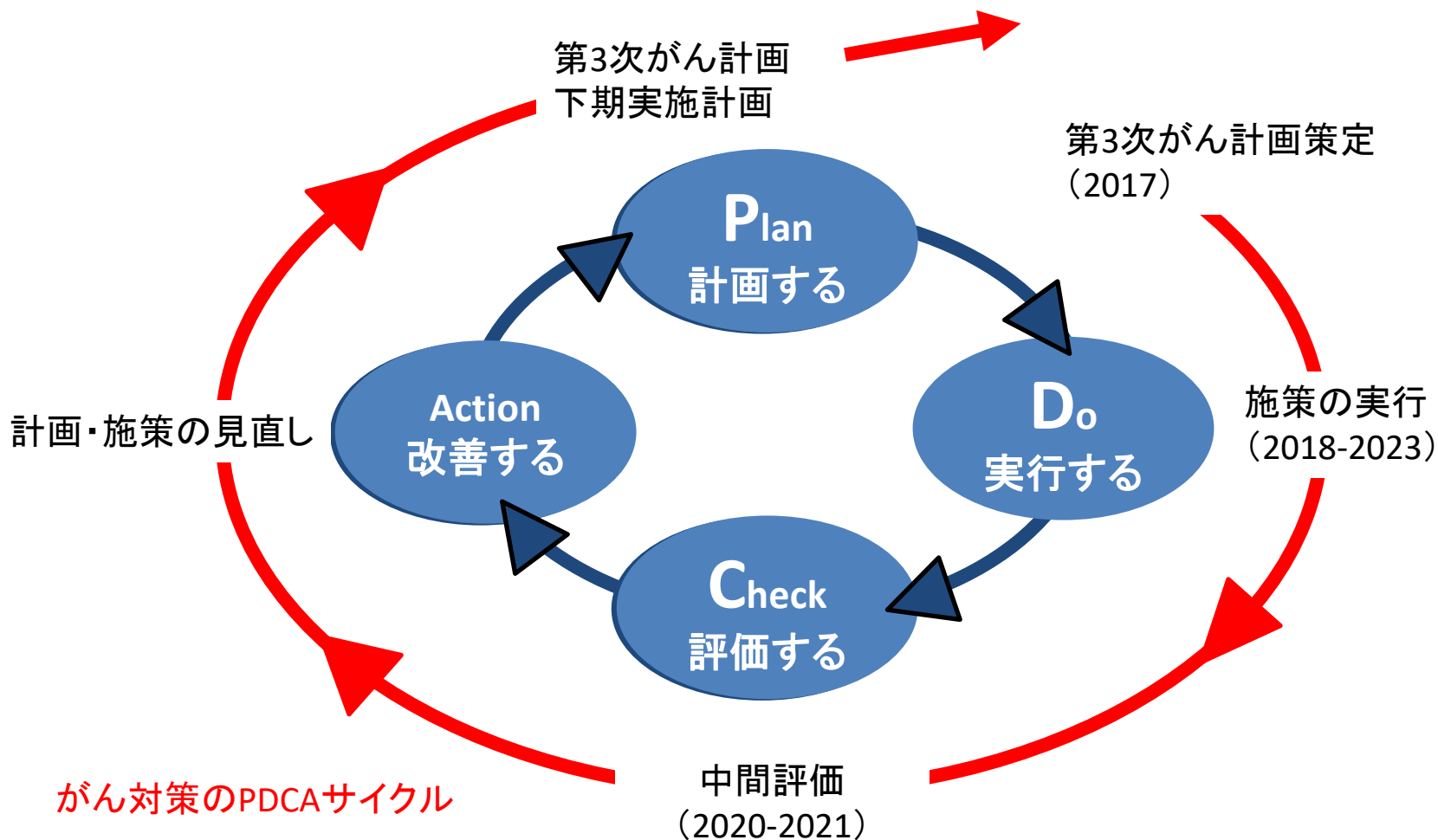
がん計画評価のために知っておきたい用語 がん政策サミットのご紹介

< 第18回がん政策サミット2020プレセッション >

2020年10月31日
特定非営利活動法人がん政策サミット

PDCA

計画する(Plan)、実行する(Do)、評価する(Check)、改善する(Action)



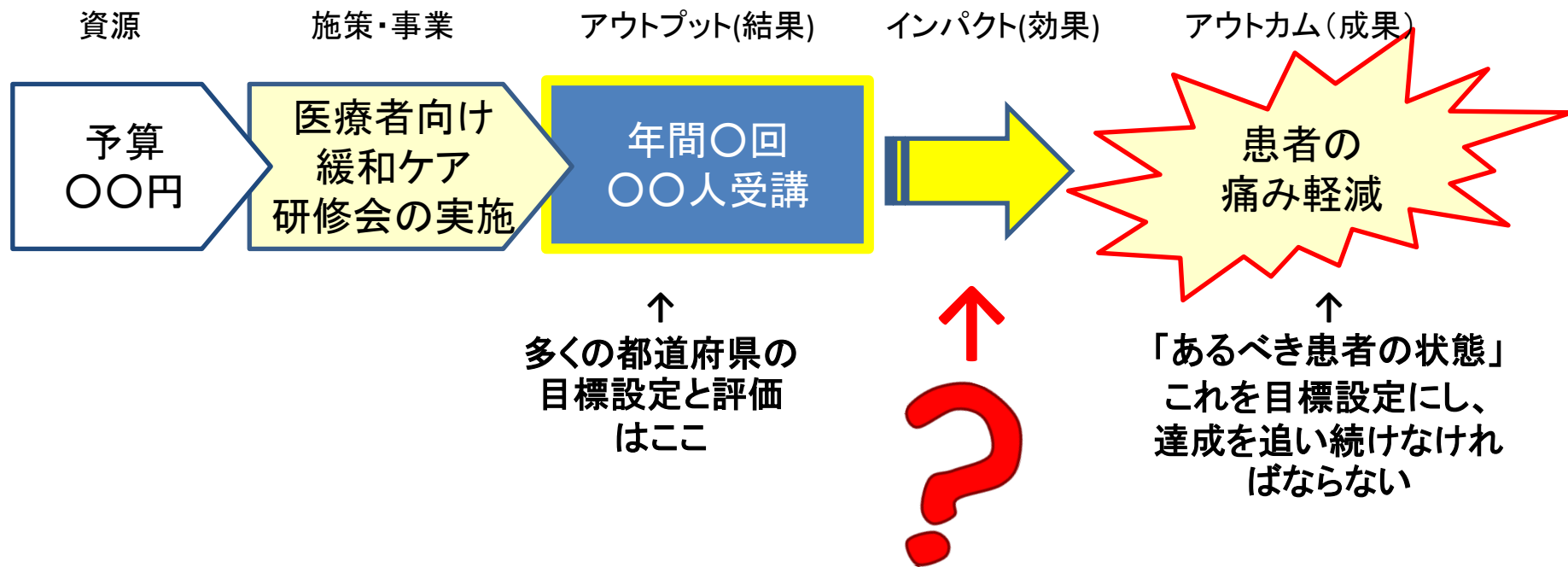
アウトプット、アウトカム、インパクト

インプット(投入)	施策や事業に投入された(資金、人、物などの)資源
アウトプット(結果)	施策や事業を実施したことにより、(実施主体側に)生じる結果
アウトカム(成果)	施策や事業が(働きかけた)対象にもたらした変化
インパクト(効果)	アウトプットがアウトカムに与えた影響



アウトプット、アウトカム、インパクト

アウトプット(結果)	施策や事業を実施したことにより、(実施主体側に)生じる結果
アウトカム(成果)	施策や事業が(働きかけた)対象にもたらした変化
インプット(投入)	施策や事業に投入された(資金、人、物などの)資源
インパクト(効果)	アウトプットがアウトカムに与えた影響



政策評価 = 中間評価で見なければならなのはここ!!

この施策・事業は、アウトカムにどれだけ効果をもたらしたか?

予算〇〇円かけて〇〇人受講した医療者向け研修会は、どれだけ患者の痛みを減らしたか?

アウトプット、アウトカム、インパクト

- アウトプット(結果) 施策や事業を実施したことにより、(実施主体側に)生じる結果
- アウトカム(成果) 施策や事業が(働きかけた)対象にもたらした変化
- インプット(投入) 施策や事業に投入された(資金、人、物などの)資源
- インパクト(効果) アウトプットがアウトカムに与えた影響



資源 インプット

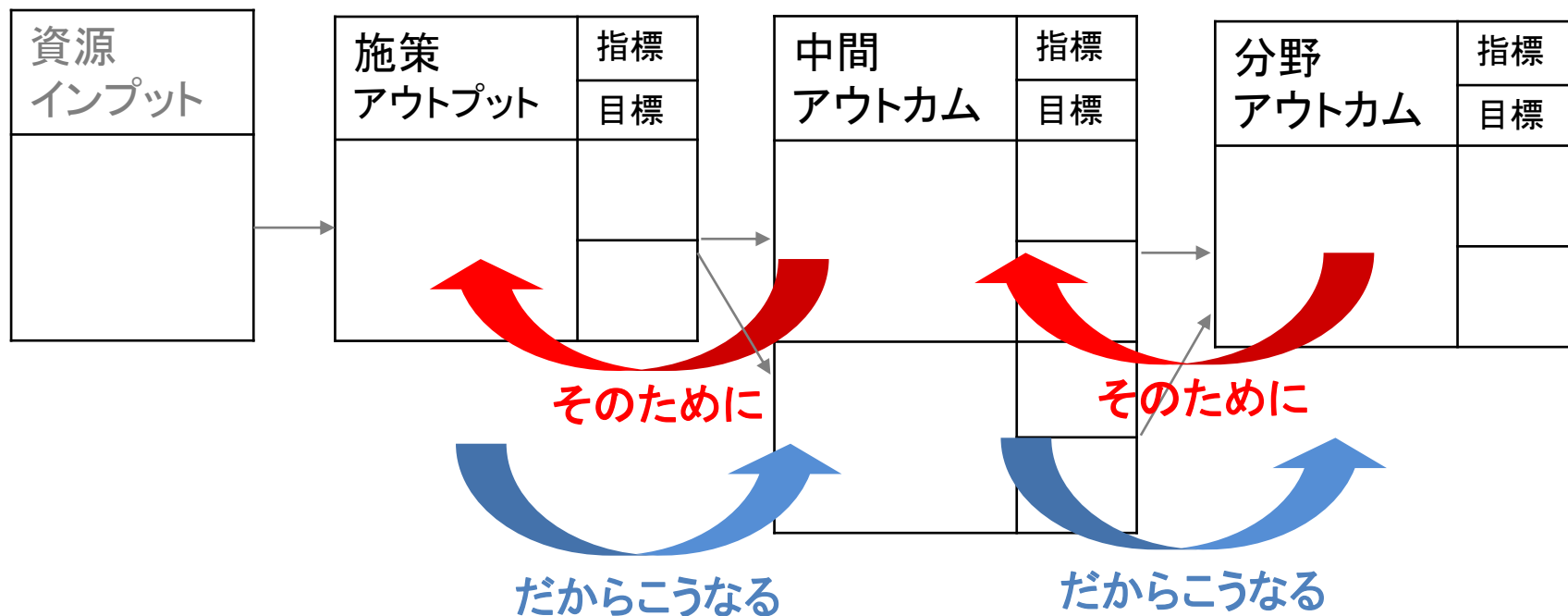
施策 アウトプット	指標
	目標

中間 アウトカム	指標
	目標

分野 アウトカム	指標
	目標

ロジックモデル

原因と結果の因果関係の論理構造図です。平たくいえば「何のために、何をする」「何をすることで、何をもちますか」を示しています。がん計画においては、分野ごとの目標と施策を関連付ける図となります。また、ロジックモデルが出来上がることで、時間や人の変化に影響されることなく、がん対策を推進していけることが期待されます。



アウトプットやアウトカムを測るためのモノサシ(目標や実績はモノサシの目盛り)。

下記の3つに分類される。

・ストラクチャー(構造)指標(S) →医療資源指標

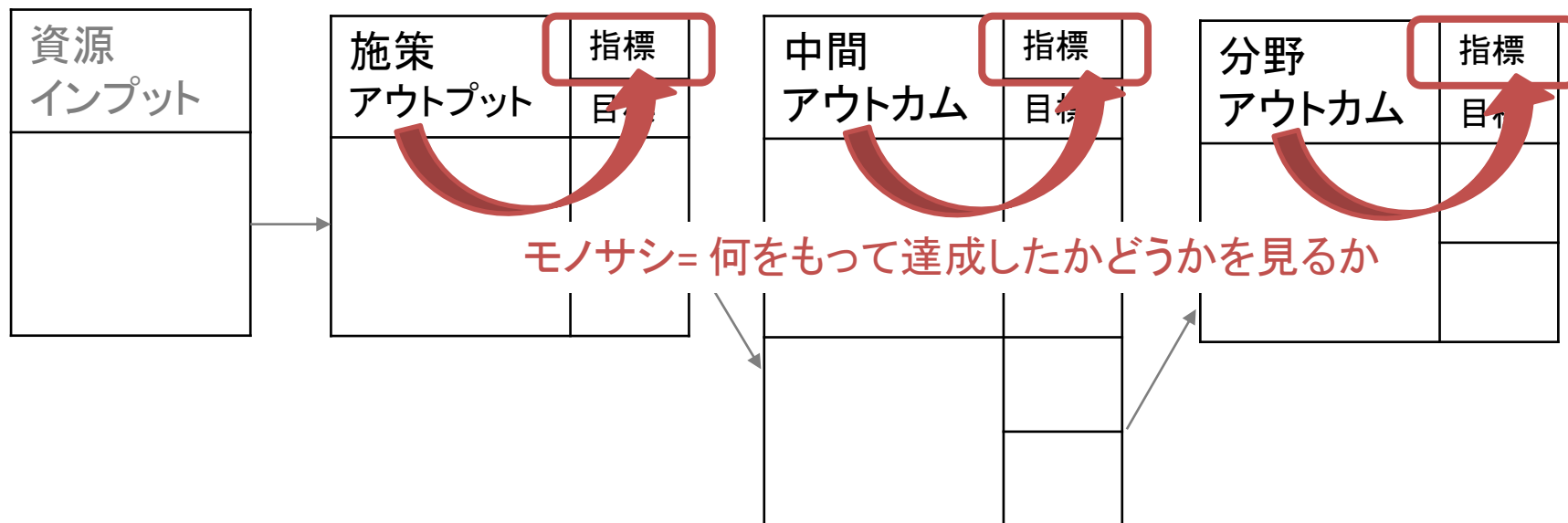
医療サービスを提供する物的資源、人的資源および組織体制、外部環境ならびに対象となる母集団を測る指標

・プロセス(過程)指標(P) →医療サービス指標

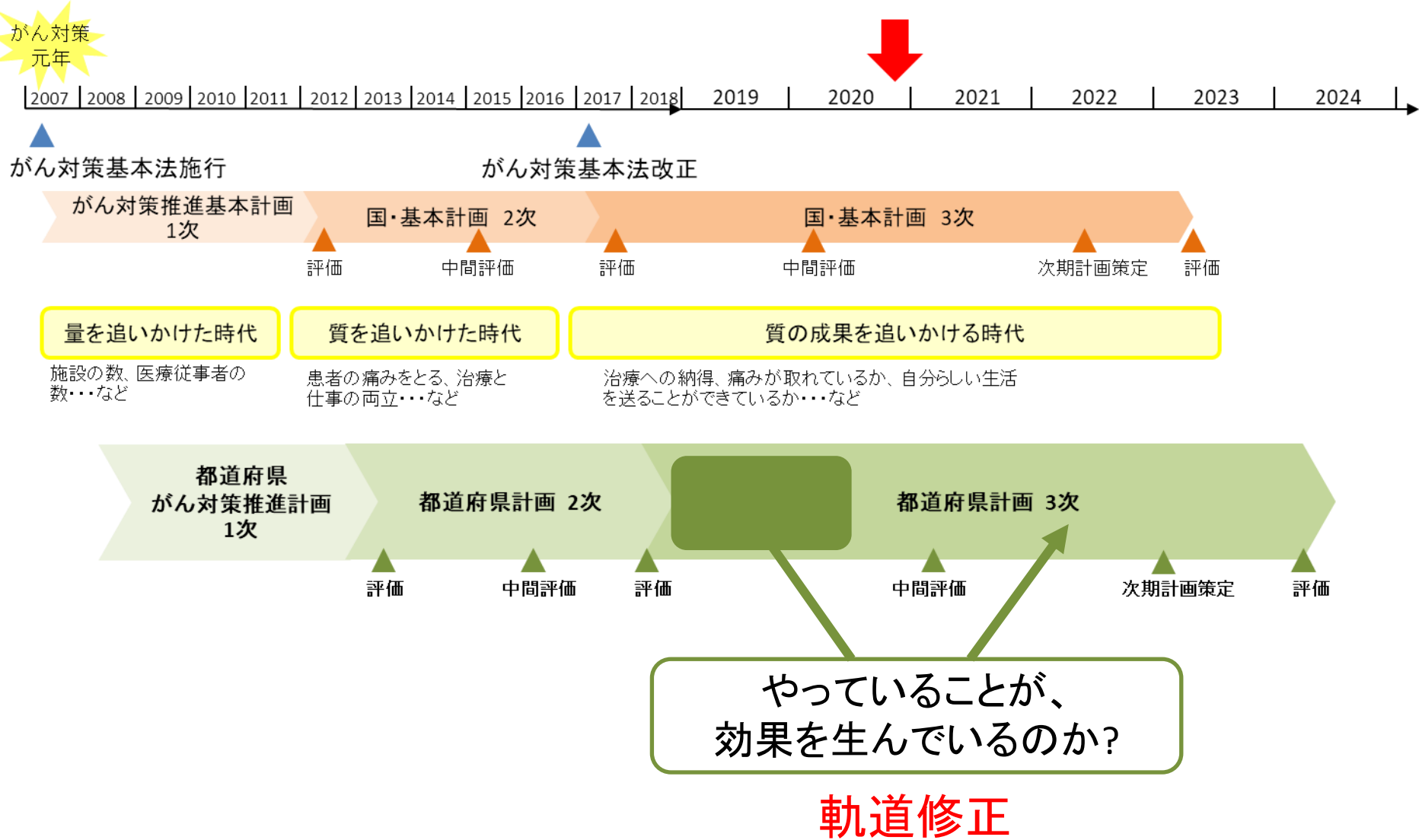
実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

・アウトカム(成果)指標(O) →患者・住民状態指標

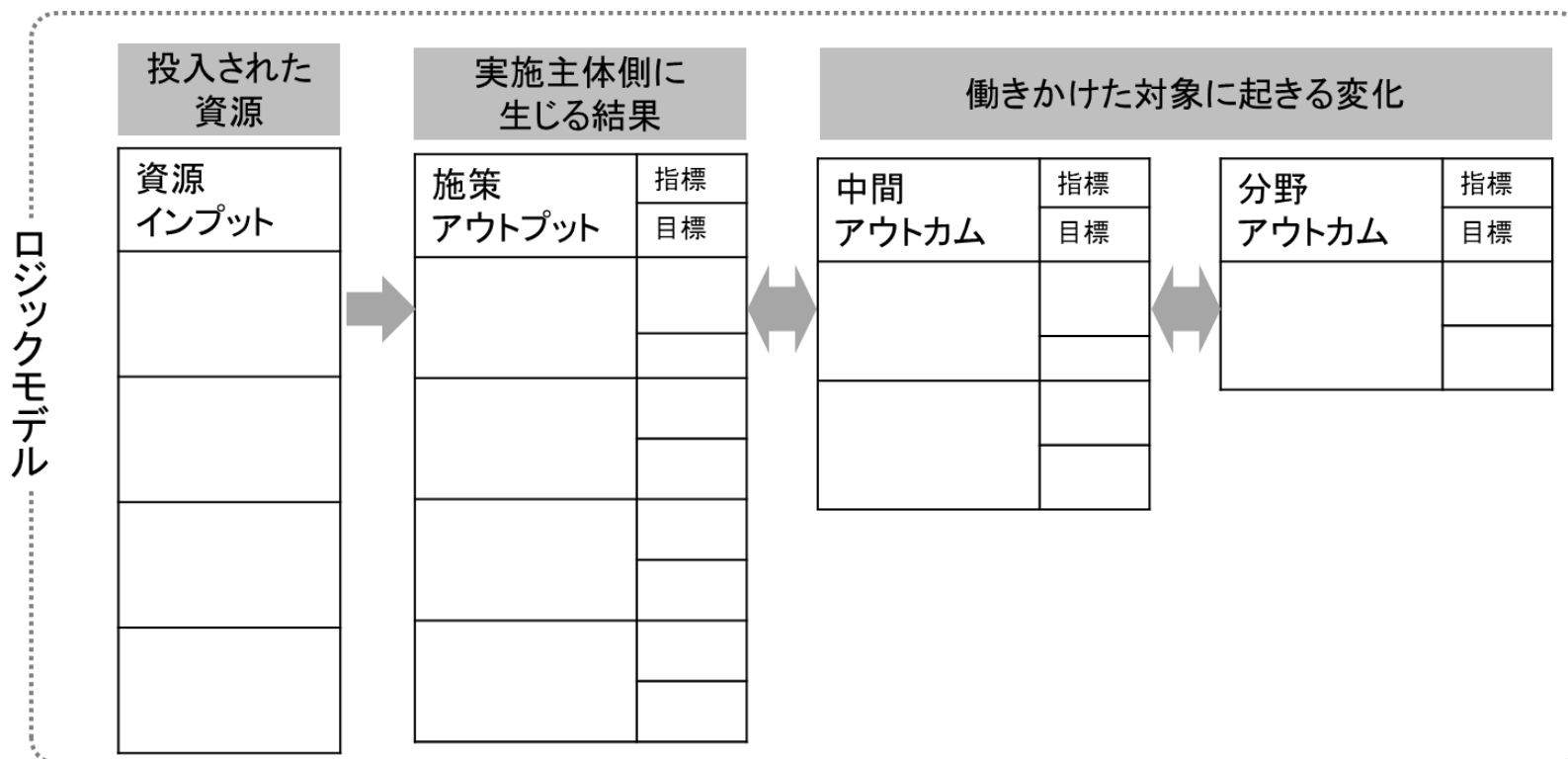
住民の健康状態や、患者の状態を測る指標



がん計画中間評価の目的



ロジックモデルを使って、評価をしていきます



PDCA

整合性評価

アウトプット

実効性評価

アウトカム

効果評価

インパクト

費用対効果評価

ロジックモデル

指標

NPO法人がん政策サミットとは

■理 念
日本全国どこに住んでいても、患者・住民の「いのち」「生活の質」「尊厳と安心」が最良の状態になることを目指します。

■使 命
患者中心の六位一体によるアドボカシー（政策提言）活動を支援し、成果につながるがん対策を促進します。

■活動指針

1.患者・住民中心

対策がもたらすがん患者・家族・住民へのアウトカム（成果）を求め、患者・住民の状態を見据えます。

2.アドボカシー重視

患者・住民にとっての課題を、制度や政策面から解決する方法に取り組みます。

3.変革の達成

取り組むだけでなく、患者・住民の課題解のアウトカムが得られるまで、変革の達成にこだわり続けます。

4.物語と論理の両輪

体験から来る物語や情熱と、学びから得た論理やデータの両面を活用します。

5.公正と中立の順守

倫理に基づき、公正を守り、特定の主義・党派・団体などに寄らない中立性を維持します。

6.六位一体を重視

患者を中心に、議員、行政担当者、医療提供者、メディア記者、企業等民間が対等な立場で一体となって相互に学び合い、協働する取組みを推進します。



がん政策サミット

患者を中心とした六位一体で47都道府県からがん対策に取り組む人が集まる「場」を提供する

【対象者】

- 患者関係者: 都道府県がん対策推進協議会現職委員・委員経験者 他公募枠
- 議員: 都道府県議会厚生関連委員会所属議員
- 行政担当者: 都道府県庁がん対策担当者
- 医療提供者: 都道府県庁がん対策推進協議会会長 都道府県医師会長
拠点病院長 特定機能病院がんセンター長
- 民間: 当NPO支援企業担当者 学術関係者
- メディア: 全国紙・地方紙・医療系記者



これまでのがん政策サミット <https://cpsum.org/summit>

がん計画のPDCA <https://cpsum.org/pdca>

がん対策地域別データ集 <https://cpsum.org/ccm>

[番外編]

なぜ、患者参画なのか。なぜ今、患者の声が県庁に、霞が関に届くのか。

第16回がん政策サミット2018 報告書
13～15ページ

https://cpsum.org/pdf/summit/16/sum1808_report.pdf

11月7日、8日

オンラインでお目にかかれること、楽しみにしています